

氏 名	職 名	学 位
伊藤 雅之	教授	博士（農業経済学）

担当科目	<p><学部>マーケティング論、ビジネスプランニング、人的資源管理論、経営組織論、流通経済論、企業マネジメント概論、食料経済学、経済経営基礎演習、社会調査ワークショップ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ。 卒業研究Ⅰ・Ⅱ</p> <p><大学院>情報戦略論研究、サービス経済論研究</p>
研究分野	経営情報戦略、eコマース、フードシステム消費者行動論
所属学会	経営情報学会、日本農業経営学会、日本フードシステム学会、日本農業経済学会、システム農学会、共生社会システム学会

学会および社会における主な活動	
<p>・2020年度日本農業経済学会大会（令和2年3月開催）において「農業法人の事業リスクに対する重要認識に関する一考察」でオンライン報告した。</p>	
主要研究業績	
<p>・伊藤雅之（令和2年3月）「農業法人の事業多角化と経営活動特性との関連に関する一考察」『農業経済研究』第91巻第4号、pp. 460-465</p>	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
越智 信仁	教授	博士(経済学)、博士(法学)

担当科目	【学部】 会計学総論、財務会計論、国際会計と監査、経営分析論、管理会計論、金融論、コース演習（経営プランニング）、総合演習、卒業研究、 【大学院】 財務諸表論研究、財務管理研究、簿記論研究、経営分析研究
研究分野	公正価値測定と監査。非財務情報開示と保証 外部性制御のディスクロージャー論 中小企業金融の円滑化に向けた会計専門職の役割
所属学会	日本会計研究学会、グローバル会計学会、国際会計研究学会、日本社会 関連会計学会、日本監査研究学会、中小企業会計学会、税務会計 研究学会、非営利法人研究学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル会計学会理事（平成 30 年 3 月～現在）、日本社会関連会計学会理事（令和元年 11 月～現在）、日本 IR 学会評議員（平成 28 年 6 月～令和 2 年 3 月）。 ・環境経営学会賞（学術貢献賞）受賞、単著『社会的共通資本の外部性制御と情報開示』（日本評論社）が対象、令和元年 5 月。本学ホームページ「ニュース」にも掲載。 ・招待講演「会計上の見積りが引き起こす監査上の問題：監査人の説明責任」単独、静岡県立大学社会人学習講座（静岡市産学交流センター）、静岡県立大学地域経営研究センター主催、令和 2 年 1 月。 ・学会誌（日本社会関連会計学会、中小企業会計研究学会）での投稿論文に対する査読担当、東京税理士会での確定申告市民無料相談員・公立学校での租税教育活動（無償）。 ・明治大学大学院会計専門職研究科兼任講師、中央大学ビジネススクール(大学院戦略経営研究科)兼任教員、中央大学比較法研究所嘱託研究所員、高崎経済大学非常勤講師、静岡県立大学非常勤講師。
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> ・論文「比較可能な ESG 評価の可能性と課題」単著、インベスター・リレーションズ第 13 号（日本 IR 学会）査読付き、令和元年 11 月。 ・学会報告「ESG 評価の課題」単独、日本社会関連会計学会第 32 回全国大会スタディグループ中間報告の担当パート報告（文京学院大学）、令和元年 11 月。 ・学会報告「社会関係資本と WELL-BEING—非対称情報緩和の視点から」単独、日本社会関連会計学会 2019 年度東日本部会報告（国際基督教大学）、令和元年 6 月。 ・共同研究「SDGs 時代の社会的評価指標開発への挑戦—AI 活用と ESG 評価の視点より」日本社会会計関連学会スタディグループ、平成 30 年 11 月～令和 2 年 11 月。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> ・科研費基盤 C（単独 16K03996）「外部不経済の内部化に向けた企業ディスクロージャー論の総合的研究」の「研究成果報告書」を日本学術振興会に提出、令和元年 6 月。 ・日本社会関連会計学会調査助成（共同）、平成 30～令和 2 年度。

氏 名	職 名	学 位
奥乃 真弓	教授	博士（法学） 経営学修士（専門職）

担当科目	会社法、商法（商行為）、金融商品取引法、経済・経営分析リテラシー、 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ （大学院）国際法研究、会社法研究
研究分野	民事法学／会社法・国際取引法 新領域法学／AI・ロボットと法
所属学会	国際取引法学会 日本私法学会

学会および社会における主な活動

1. 国際取引法学会 国際金融・税制部会 部会員として研究会に参加。
2. 国際取引法学会 会社法制部会 部会員として研究会に参加。
3. 日本私法学会 2019年度大会に会員として参加。

主要研究業績

1. 奥乃 真弓、「アメリカのマネー・ロンダリング防止策の観点から消費税還元ポイント制度を考える」、第5回国際取引法学会大会（2019年3月16日 於早稲田大学）報告—大会個別報告、国際取引法学会、第5号、pp. 119-149、国際取引法学会、令和2年3月。<http://ci.nii.ac.jp/naid/40022189748>（査読付き）
2. 奥乃 真弓、「英国スチュワードシップ・コード2020：実効性の確保の実質化」、国際商事法務、掲載決定、国際商事法研究所、令和2年。

文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

1. 令和2年度日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究 申請（研究代表者）
2. （公財）三菱財団 第49回（2020年度）三菱財団人文科学研究助成 申請（研究代表者、単独）

氏名	職名	学位
加藤 順一	総合政策学科教授	博士（法学）

担当科目	法と社会、日本国憲法、法学の基礎、日本文化史、暮らしと文化、歴史、日本史概説Ⅰ、日本史概説Ⅱ、日本史特論Ⅰ、日本史特論Ⅱ、埼玉・川越の歴史と文化、フィールドワークC（地方史）、現代社会と歴史遺産、文化政策概論、文化政策論、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ
研究分野	日本法制史、日本政治史
所属学会	法制史学会、史学会、三田史学会、慶應法学会

学会および社会における主な活動	なし
主要研究業績	なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
伊達 雅彦	教授	修士（文学）

担当科目	英語、英語圏文化論、アメリカ文化論、地域研究論（アメリカ）、アニメ&マンガ文化、ジャパニメーション論、卒業研究、卒業論文
研究分野	アメリカ文学、映画、サブカルチャー
所属学会	日本アメリカ文学会、日本英文学会、日本ソール・ベロー協会、ユダヤ系作家研究会、多民族研究学会

学会および社会における主な活動
<p>学会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本アメリカ文学会・本部代議員 ・日本アメリカ文学会東北支部・支部長 ・日本ソール・ベロー協会・理事 ・日本ユダヤ系作家研究会・理事 ・多民族研究学会・編集委員 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語検定協会（英検）二次試験面接委員
主要研究業績
<p>共編著書：『ユダヤの記憶と伝統』（彩流社、2019）、『ホロコースト表象の新しい潮流 ユダヤ系アメリカ文学と映画をめぐって』（彩流社、2018）、『ユダヤ系文学に見る聖と俗』（彩流社、2017）、『ホロコーストとユーモア精神』（彩流社、2016）、『ユダヤ系文学と「結婚」』（彩流社、2015）、『ユダヤ系文学に見る教育の光と影』（大阪教育図書、2014）、『ゴーレムの表象 ユダヤ文学・アニメ・映像』（南雲堂、2013）。共著書：『エスニシティと物語り——複眼的文学論』（金星堂、2019）、『ソール・ベローともう一人の作家』（彩流社、2019）、『彷徨える魂たちの行方——ソール・ベロー後期作品論集』（彩流社、2017）、『衣装が語るアメリカ文学』（金星堂、2017）、『アメリカ映画のイデオロギー——視覚と娯楽の政治学』（論創社、2016）、『アイリッシュ・アメリカンの文化を読む』（水声社、2016）、『映画で読み解く現代アメリカ オバマの時代』（明石書店、2015）、『アメリカン・ロードの物語学』（金星堂、2015）など。共訳書：『新イディッシュ語の喜び』（大阪教育図書、2013）。</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>1) 文科省科研費取得（平成 22 年度～平成 24 年度）基盤研究（C）課題番号：22520267 「ホロコーストとユダヤ系アメリカ文学—持続と変容」（共同研究、他 3 名）</p> <p>2) 文科省科研費取得（平成 26 年度～平成 28 年度）基盤研究（C）課題番号：26370331 「21 世紀のホロコースト表象—ユダヤ系アメリカ文学の新しい潮流」（共同研究、他 3 名）</p>

氏名	職名	学位
濱西 隆男	教授	法学士

担当科目	憲法ⅠⅡ、憲法概論ⅠⅡ、行政法（行政法Ⅰ）、行政法概論、行政法Ⅱ、地方自治法、キャリアプランニング基礎（公務員試験対策）、法学の基礎、日本国憲法、総合演習ⅠⅡ、卒業研究ⅠⅡ、憲法研究、行政法研究
研究分野	行政法、情報法、地方自治法
所属学会	日本公法学会、行政判例研究会

学会および社会における主な活動
○ 平成 29 年 8 月より内閣府規制改革推進会議の専門委員に任命されている。令和元年 6 月に第 5 次答申を内閣総理大臣に提出した。令和元年 11 月より同会議デジタルガバメント・ワーキンググループに参加して、行政のデジタル化に取り組んでいる。
主要研究業績
①「公務員の法令遵守義務と職務命令服従義務について」（単著）尚美学園大学総合政策論集 24 号（平成 29 年 6 月） ②「自動車の一斉検問」（単著）宇賀克也・交告尚史・山本隆司編「行政判例百選Ⅰ（第 7 版）（別冊ジュリスト 235 号）」（有斐閣）（平成 29 年 11 月） ③「『行政計画』私論（1）～（3）」（単著）自治研究 94 巻 3 号・5 号・7 号（第一法規）（平成 30 年 3 月・5 月・7 月） ④「行政処分の職権取消しについて－比較衡量に際しての重要な指標に基づく判断枠組みの構築に向けて」（単著）尚美学園大学総合政策研究紀要 32 号（平成 30 年 9 月） ⑤「公立学校教員採用後、選考試験の成績に不正な加点操作があったとして行われた採用処分の取消処分について、取消請求が棄却された事例（①事件）と取消請求が認容された事例（②事件）」（単著）自治研究 94 巻 12 号（第一法規）（平成 30 年 12 月） ⑥「条解 行政不服審査法（第 2 版）」（共著）（弘文堂）（令和 2 年 3 月）
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
「行政の実効性確保法制の整備のに向けた総合的研究：統一法典案策定の試み」2019 年度基盤研究（B）（一般）（～2021 年度）研究分担者

氏名	職名	学位
三野 裕之	教授	政治学修士

担当科目	ソーシャルメディア論、情報と社会、デジタルメディア論、放送文化史、情報倫理と法、コンテンツビジネス論、情報通信政策論、コース演習Ⅰ／Ⅱ、総合演習Ⅰ／Ⅱ、卒業研究Ⅰ／Ⅱ
研究分野	デジタルメディア論、メディア史、コンテンツビジネス論
所属学会	日本マス・コミュニケーション学会、情報通信学会、日本出版学会、三田社会学会

学会および社会における主な活動	
日本マス・コミュニケーション学会 事務局幹事（学会ホームページ担当）	
主要研究業績	
なし	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
安章浩	教授	修士(政治学)

担当科目	行政学Ⅰ・Ⅱ、政治過程論、政策過程論、政治学の基礎、コース演習Ⅰ・Ⅱ、公共政策の基礎、総合演習、卒業研究、社会福祉政策研究、社会保障論研究、ガバナンス研究、立法過程研究
研究分野	行政学、公共政策学、政治過程論、英国政治・行政研究、ガバナンス研究、公共経営論、公共哲学、日本の行政改革研究
所属学会	日本政治学会、日本行政学会

学会および社会における主な活動	
平成26年まで3年間にわたり、中野区外部評価委員会有識者委員を務め、中野区の行政内部評価に対して、外部評価を行い、区長に結果を報告した。	
主要研究業績	
<p>著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 『ドイツ政治哲学』風行社、平成24年(翻訳・共訳) 『変動期の公共政策』学陽書房、平成26年(共著) 『憲法改正の政治過程』学陽書房、平成26年(単著) <p>論文、翻訳</p> <ol style="list-style-type: none"> エレン・ケネディ「カール・シュミットとフランクフルト学派(1)」『尚美学園大学総合政策論集』第21号 平成27年(翻訳) エレン・ケネディ「カール・シュミットとフランクフルト学派(2)」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第27号 平成28年(翻訳) 「西ドイツにおける近代立憲主義確立の政治過程—三権の立憲主義統制機関としての連邦憲法裁判所の活動を中心に—」『尚美学園大学総合政策論集』第22号、平成28年(単著) 「近現代ドイツにおける国家と憲法の相克関係」『尚美学園大学総合政策論集』第24号、平成29年(単著) 「アメリカ合衆国政治制度の原型」『尚美学園大学総合政策論集』第35号、令和2年(単著) 	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
角谷 淳	准教授	修士（学術）

担当科目	文学 人間と文化特演（日本文学） 日本語リテラシー基礎演習□□（再履修） 総合演習□□総合演習ⅠⅡ（再履修）卒業研究ⅠⅡキャリア演習ⅠⅡ 基礎演習ⅠⅡ（再履修）
研究分野	明治文学特に夏目漱石 二葉亭四迷
所属学会	日本近代文学会 日本文学論学会 留学生教育学会 日本法政学会 日本ケルト学会

学会および社会における主な活動

- ・ 言語と交流研究会の委員を引き続き務め新号発表をサポートした
- ・ 尚美大学ボランティア研究会の副顧問（相談役）として活動した。
- ・ 文学関係のシンポジウムに参加し議論を行った。
- ・ 大学では学生委員会に所属した。
- ・ 東野高校の生徒と高大連携授業を行った

主要研究業績

『小説家時代の二葉亭四迷』（単著・雑誌「言語と交流」2019。7

文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

なし

氏 名	職 名	学 位
小林 正英	准教授	博士 (法学)

担当科目	地域研究 (欧州)、国際政治史、 公共政策演習 (地域研究欧州)、公共政策応用演習 (国際政治史) 基礎演習 I/II、プレゼミ I/II、キャリア演習 I/II、卒業研究 I/II、卒業論文、 国際機構論研究 (大学院)、国際問題研究 (大学院)
研究分野	国際関係論、欧州統合論、安全保障論
所属学会	日本国際政治学会、日本 EU 学会、国際安全保障学会、日仏政治学会 グローバル・ガバナンス学会

学会および社会における主な活動
なし
主要研究業績
「EU の外交・安全保障政策と対中認識: Cinderella Honeymoon」『東亜』2019 年 4 月号、 90-97 頁。 「EU による安全保障」広瀬佳一編著『現代ヨーロッパの安全保障』ミネルヴァ書房、2019 年 10 月、74-94 頁。
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
2017-20 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)「EU の規範パワーの持続可能性に関する実証 研究」(課題番号 17H02497) (研究代表者: 白井陽一郎) に研究分担者として参加してい る。

氏名	職名	学位
畑中 綾子	准教授	博士（社会科学）

担当科目	民法Ⅰ・民法概論Ⅰ、民法Ⅱ・民法概論Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、公共政策演習（民法Ⅰ）、公共政策演習（民法Ⅱ）、法学演習、契約法演習、医事法演習
研究分野	民法、医事法
所属学会	日本医事法学会、日本生命倫理学会、日米法学会、法と教育学会

学会および社会における主な活動
順天堂大学臨床研究審査委員会・委員（平成30年4月～現在） 滋賀県長浜市特定非営利法人健康づくり0次クラブ・コンプライアンス委員会委員（平成22年4月～現在）
主要研究業績
畑中綾子「部活動中の熱中症による生徒死亡に対する教員の個人責任」月刊高校教育 53(3)92-95 頁（2020.3） 畑中綾子「SNS から発生した生徒間トラブルと自殺」月刊高校教育 52(12)92-95 頁（2019.11） 畑中綾子「日本の医療分野の賠償訴訟にみられる積極的司法とその修正—近年の医療事故調査制度や救済制度との相互作用も念頭において」年報医事法学 34号 15-21 頁（2019.8） 畑中綾子：論文紹介「ロボットは高齢社会を救えるか」日米法学会 2018-II、316-319 頁（2019.6） 他
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
①平成29年4月～令和2年3月（日本学術振興会・特別研究員奨励研究費）「終末期の延命治療の中止と本人の最善の利益の決定における司法の役割」（研究代表者） ②平成29年4月～令和2年3月（科研費・基盤C）「医療事故調査制度の運用による医療訴訟の役割変容と機能分担」（研究代表者） ③平成30年4月～令和2年3月（厚生労働科学研究費補助金）「患者安全を支援するための法制度の構築を目指した比較研究；法による医療安全対策の支援・阻害要因の再検討」（分担研究者） ④令和元年12月～令和2年11月ファイザー研究助成（国内共同研究）「医療者らによる患者の治療方針決定に対する司法の支援的役割の検討」（研究代表者） ⑤令和2年1月～令和3年3月国立国会図書館令和2年度 科学技術に関する調査（分析型調査）「高齢者を支える技術と社会的課題」（分担研究者）

氏名	職名	学位
上村 博昭	専任講師	博士（学術）

担当科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ（アート&カルチャー）、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、地理学概説、文化コーディネート論、地誌学、文化産業論C（食とビジネス）、地理学、地誌、フィールドワークD（地誌学）、マップデータビジネス論、まちづくり政策論 など
研究分野	人文地理学、経済地理学
所属学会	日本地理学会、経済地理学会、東京地学協会、日本農業経済学会

学会および社会における主な活動
<p><学会活動></p> <p>日本地理学会</p> <p>総務専門委員 平成30年4月～現在</p> <p>選挙管理委員 令和元年3月～令和元年12月</p> <p>経済地理学会</p> <p>関東支部幹事 平成30年4月～令和2年3月</p> <p>選挙管理委員 令和元年5月～令和元年12月</p> <p>大会実行委員 令和元年9月～令和2年9月</p> <p>など</p>
主要研究業績
<p><査読論文></p> <p>KAMMURA, H. Utilization of ICT for Industrial Promotion on a Japanese Remote Island. NETCOM 33(3/4). 令和2年2月.</p> <p><紀要論文></p> <p>上村博昭「地域のマーケティングに関する地理学的考察」『尚美学園大学 総合政策研究 紀要』35: 53-63. 令和2年3月.</p> <p><学会発表></p> <p>上村博昭「縁辺地域における食品加工事業の展開と産業振興政策」経済地理学会 第66回大会（フロンティアセッション）令和元年5月.</p> <p>KAMMURA, H. The Transition of Prefectures' Antenna Shops in Central Tokyo. The 14th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography 令和元年10月.</p> <p>ほか1件</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>科学研究費補助金「食の空間・景観・イメージの価値創造とフードシステム再編に関する地理学的研究」（研究代表者：深瀬浩三、不採択）</p>

氏名	職名	学位
高橋 幸裕	専任講師	博士（社会学）

担当科目	社会福祉Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論、社会保障論、ボランティア論基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、公共政策演習（社会福祉）、公共政策演習（老人福祉論）、介護等体験事前指導Ⅰ、卒業論文
研究分野	社会福祉、介護労働論、高齢者福祉政策、終末期ケア、多職種連携
所属学会	社会政策学会、福祉社会学会、日本介護福祉学会、日本グリーン&ビリーブメント学会

学会および社会における主な活動
平成 31/令和元年度：公益財団法人介護労働安定センター奈良支所奈良労働局委託事業座長 平成 31/令和元年度：公益財団法人介護労働安定センター京都支部京都労働局委託事業座長
主要研究業績
<p>論文 令和元年 9 月：角能・高橋幸裕「終末期介護における職種間コミュニケーションの課題の多面的考察－介護職・ケアマネージャー・介護職へのアンケート調査を踏まえて－」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第 34 号 pp.35-63（総合政策学部メディア・紀要委員会）</p> <p>令和元年 12 月：高橋幸裕「介護・看護現場における介護職、福祉職、看護師の『看取り』と『死』の持つ意味の違いによる終末期支援のあり方に関する研究」『尚美学園大学総合政策論集』第 29 号 pp.1-24</p> <p>令和 2 年 3 月：高橋幸裕・角能・牛草茂丈「在宅介護現場における終末期介護を支える家族支援のあり方に対する研究－介護職・福祉職・看護職の連携による実践からの考察－」『公益財団法人生協総合研究所 生協総研賞 第 16 回助成事業研究論文集』pp.82-100 公益財団法人生協総合研究所</p> <p>研究ノート 令和 2 年 1 月：高橋幸裕「訪問介護現場における終末期介護サービス提供の導入に関する課題（前編）」『ホームヘルパー』no.511 令和 2 年 1,2 月合併号 pp.6-12 日本ホームヘルパー協会</p> <p>令和 2 年 3 月：高橋幸裕「訪問介護現場における終末期介護サービス提供の導入に関する課題（後編）」『ホームヘルパー』no.512 令和 2 年 3 月号 pp.7-12 日本ホームヘルパー協会</p> <p>報告書 令和 2 年 3 月：高橋幸裕・角能・牛草茂丈「公益財団法人生協総合研究所 第 16 回（2018 年度）生協総研賞『助成事業』 在宅介護現場における終末期介護を支える家族支援のあり方に対する研究－介護職・福祉職・看護職の連携による実践からの考察－」尚美学園大学総合政策学部総合政策学科高橋幸裕研究室</p> <p>学会発表 令和元年 6 月：角能・高橋幸裕「終末期ケアにおけるコミュニケーションの実証的考察－介護職・ケアマネージャー・看護師への調査結果を踏まえて－」福祉社会学会第 17 回大会 明治学院大学</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<p>令和 2 年度：公益財団法人笹川保健財団 2020 年度研究助成Ⅰ研究採択（研究代表者）</p> <p>令和 2 年度：独立行政法人日本学術振興会科学技術研究費（若手研究 課題番号 20K13772）採択（単独）</p> <p>※採択分のみ記載。</p> <p>※令和 2 年度以降、公益財団法人労働問題リサーチセンター、特定非営利活動法人非営利・協同総合研究所いのちとくらしより研究課題を採択。いずれも研究代表者。</p>

氏名	職名	学位
田中 啓太	専任講師	博士（経済学）

担当科目	マクロ経済学、経済政策論、労働経済論、経済学の基礎、現代経済と社会、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コース演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、経済政策研究
研究分野	L.ロビンズの経済学を中心とした20世紀経済学史の方法論的検討
所属学会	経済学史学会、社会思想史学会、進化経済学会

学会および社会における主な活動	なし
主要研究業績	<p><論文></p> <p>令和2年3月「L.ロビンズの経済学方法論にみる二種の仮定」、『経済科学』（名古屋大学大学院経済学研究科）第67巻3号（115-129頁）</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	平成30年度～令和2年度：JSPS 科研費 基盤研究（C）「L.ロビンズの選択理論とアノマリーを巡る20世紀初頭の経済学の再考」（課題番号18K01532）

氏 名	職 名	学 位
荒 まゆみ	助 教	経済学士

担当科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ 日本語リテラシーⅠ・Ⅱ 日本語能力試験対策講座、日本語特殊（漢字）
研究分野	日本語教育
所属学会	日本語教育学会 東アジア日本学研究会 日本リメディアル教育学会

学会および社会における主な活動

- ・川越市日本語ボランティア教室クラッセ主催：
日本の中学・高校への進学のためのセミナー参加
- ・日本語ボランティア教室開講

主要研究業績

総合政策論集第 28 号「留学生の漢字力分析」

部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

平成 24 年度以降はなし